

世の光なる人たらむ！

新型コロナウイルス感染症の対応策で生活が制限される中、令和元年度も終盤に近づいております。3月2日(月)から臨時休業となり、在校生の皆さんは自宅待機を余儀なくされています。

仁賀保高校では、2月29日(土)付文書を生徒・保護者の皆さんに発信して、この期間に「何をどうするか？」に関する心得と対応方法を示しました。一方、3月1日(日)に卒業した第41期生の皆さんは、新生活の準備をしていると思いますが、不用な外出の自粛を要請されるなど、気分が晴れない日々が続いています。

すでに陽春の季節を感じる、ふるさとの風景につつまれながら、日の光に透き通るように色づく薔の臺、きらきらと純白に輝く鳥海山と小川のせせらぎに勇気づけられ、どんな困難にも前を向いて、「アイコンタクト」を忘れずに進んでいきたいものです。

今回のような緊急事態で、自宅待機を経験した仁高生の皆さん、次の(1)～(3)の視点でこの間を具体的に振り返り、来たるべき令和2年度に備えてください。

- (1) 学校から指示された課題を使って学力向上に取り組んでいるか？
- (2) 家庭での手伝い、近所や地域の方の困り感及び不安感等の解消に向けたサポートを意識して行ったか？
- (3) うがいや手洗い等感染症予防や、規則正しい生活の励行等を意識して心身の健康を維持する習慣が身についたか？

今年度、地域の皆さんから頼りにされている仁高生は、様々な要請を笑顔で引き受けてくれました。令和2年度は、にかほ市との連携協定、文部科学省「地域と協働による高校改革推進事業(地域魅力型)」アソシエイト校、ともに2年目を迎えます。新年度仁賀保高校は、「どうすれば地域が活性化するか?」「地域の皆さんの困り感や仁賀保高校に対する期待は何か?」を踏まえて、生徒の主体性のもと、積極的に地域連携を推進していきます。

仁高生の皆さん、「世の光なる人たらむ」を胸に刻み、仁賀保高校の地域貢献力をパワーアップしていきましょう。第42期生、43期生の皆さん、仁賀保高校の進化と発展は、諸君の「自分愛」「母校愛」「地域愛」の意識と実行力にかかっています。令和2年度もよろしくお祈りします。

仁高生は、「トライ&エラー」を積極的に！

仁賀保高校プログラミング思考については、鳥海讃歌第12号でお願いしました。NP
Tを進めていくために、現在臨時休業期間をどう活用するか、仕切り直していただき。NP
Tをホを活用した友人とのラインやメールによるコミュニケーション、ゲーム等に予定外の時間を
費やしていませんか。自分で時間管理ができない生徒は、今、かから自己管理にトライしてみ
ましよう。「やってみる」、「失敗したら原因を究明して再挑戦する」仁高生であってほ
しいと思います。学校からの課題は「させられる」感があり、辛い経験かも知れませんが、わ
自ら積極的に、「読書」やネットを活用した「英会話」等にトライしてみたら自分が変わ
るかも知れません。「エラー」は失敗ではなく、「成功へのヒント」と考えてください。
卒業証書授与式の「式辞」で、第41期生に送ったキーワード、「トライアル&エラ
ー」と「アイコンタクト」を、自宅待機でモヤモヤしている在校生にもプレゼントします。
今日、この瞬間から、3月22日より春季休業までの臨時休業期間(～3月21
日)を、上手に活用してほしいと切に願っています。

★ アイコンタクト (i contact) を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！

★ メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。

★ 意識力 = 意思・意志(瞬間) + 気力(持続)です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。

★ GTH は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。

★ 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなに挑戦しますか？
自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！

★ NPT は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。NPTを意識して、学びを活性化しましょう。